

令和6年度第2回古賀市総合政策検証会議アクションプラン関係事後質問

番号	資料の ページ	質問	回答	担当課
1	資料4 P21	【施策1-4-2 性別にとらわれない多様な生き方の尊重】 まちの状態・課題指標において、福岡県内でパートナーシップ宣誓制度を 設けている市町村数を記載していますが、これは古賀市の状況を表す指標 ではないので、例えば(全市民を対象としたレインボー交流会事業が開催 できるようになれば)交流会事業の参加者数等を追加すべきではないで しょうか？	ご指摘のとおり、指標については検討いたします。	人権センター
2	資料4 P35	【施策2-4-1 困ったときに頼り合える地域福祉の推進】 まちの状態・課題指標において、民生委員・児童委員の平均年齢を記載し ていますが、定員に対する充足率も追記すべきではないでしょうか？ (委員の高齢化自体が問題ではなく、それに伴い今後予想される充足率の 低下をフォーカスすべきでは)	定員に対する充足率についても把握しておりますので、ご指摘のとおり次 年度以降、追記いたします。	福祉課
3	資料4 P67	【政策5-1 基本構想の推進】 人口の社会増減について、古賀市以外の各地域（福岡市、北九州市、福津 市、粕屋郡、県外等）の社会移動の状況について、会議で報告いただきま すと現状の理解しやすいのではないかと思います。	古賀市以外の地域も含めた人口の社会増減の分析は重要と認識しており、 次回以降の会議でご報告できるよう準備を進めてまいります。	経営戦略課

令和6年度第2回古賀市総合政策検証会議アクションプラン関係事後質問

番号	資料の ページ	質問	回答	担当課
4	資料4 P47	<p>【施策4-1-2 地域ニーズを踏まえた公園の整備・維持管理】</p> <p>まちの状態・課題指標において、市民一人当たりの都市公園面積を記載していますが、人口減少局面になると自動的に1人あたりの面積は増になっていき、施策を展開せずとも数値が向上することとなります。</p> <p>このため、都市公園の総面積も追記すべきではないでしょうか？</p>	<p>この指標は、古賀市都市公園法に基づく都市公園及び公園施設の設置の基準を定める条例第3条都市公園の設置基準において、『都市公園の市民一人当たりの敷地面積の標準は、10平方メートル以上とする。ただし、市街化区域においては、5平方メートル以上とする』と規定されていることから、市の公園面積の指標の一つとして示しているものです。一人当たりの面積につきましては、国の都市公園法運用指針に示されている市町村の全区域および市街地における住民一人当たりの標準の都市公園面積を参酌し、同じ面積を規定しています。</p> <p>本市における一人当たりの公園面積につきましては報告のとおりで、全国においても令和4年度末の都市公園等の整備量は、一人当たり約10.9平方メートルとなっており、今後の国の都市公園に係る施策は、『緑とオープンスペースの量の整備を急ぐステージ』から『社会の成熟化、市民の価値観の多様化、都市インフラの一定の整備等を背景とし、緑とオープンスペースが持つ多機能性を最大限引き出すことを重視するステージ』へ移行していく方針となっていてところです。</p> <p>このようなことから、公園の整備・維持管理に係る指標につきましても、『総量』を主眼に置いた指標に併せ、『質』に主眼を置いた指標を設ける必要があることは承知しており、今後の地域ニーズを踏まえた公園の整備・維持管理のあり方を踏まえた上で、適切な指標を設定したいと考えております。</p>	都市整備課

令和6年度第2回古賀市総合政策検証会議アクションプラン関係事後質問

番号	資料の ページ	質問	回答	担当課
5	資料4 P27	<p>【施策2-1-2 保健の充実と医療連携】</p> <p>まちの状態・課題指標において、市内小中学校のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖日数（クラス数×日数）を記載しています。これについて、何故「クラス数×日数」としたのか、その考え方をご教示願います。</p> <p>日数は学校長の判断になりますので、統一した基準がなければ同じ状況（欠席者の発生率）であっても日数にばらつきが生じる恐れがあります。</p> <p>インフルエンザの発生状況自体を示すのであれば、「延べクラス数」又は「学級閉鎖したクラスの患者数の累計」のほうがよいのではないのでしょうか？</p>	<p>インフルエンザ様疾患の発生による社会的な影響を図る指標として、また、学級閉鎖期間延長による状況の変化をとらえるため、学級閉鎖学級数に日数を乗じておりましたが、ご指摘のとおり、インフルエンザ様疾患の発生状況に着目する状態指標として「市内小中学校のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖数（延学級数）」に修正いたします。</p> <p>なお、「クラス数」の表記は引用元の様式にそろえ「学級数」といたします。</p>	健康介護課
6	資料2 P9 資料4 P4	<p>【施策1-1-3 幼児教育・保育サービスの充実】</p> <p>2つの資料に関係する質問です。様々な形で「1年を通して待機児童ゼロ」に向けて動いておられるのは理解できます。市の予算化の状況、保育所の経営状態や施設の規模など様々な問題があってもなかなか「待機児童ゼロ」の実現は難しいと思いますが、やはり古賀市としては「1年を通して待機児童ゼロ」は重要なアピールポイントになると思います。なので質問なのですが、古賀市自体は保育士のリクルートに動いておられるのでしょうか？ 保育士の給与は低く、一人で生活するのも困難だと思いますが、たとえば市が3年間、住居を無料あるいは極めて安価に提供することを条件にして、山口や宮崎、鹿児島などの地方からリクルートすれば応募者は増えないでしょうか？ すでにこうしたアイデアは出されていると思いますが、資料をみる限り、市は保育所に「要請」しているだけで具体的に動いておられないように感じられます。</p>	<p>私立認定こども園等が取り組む保育士の宿舍借上や合同就職説明会の開催に対して補助金を交付する等、保育士の確保を支援しています。</p>	子ども家庭センター

令和6年度第2回古賀市総合政策検証会議アクションプラン関係事後質問

番号	資料の ページ	質問	回答	担当課
7	資料2 P6	<p>【総合戦略 基本目標II.ひとの流れの創生】</p> <p>この質問は上の質問ともリンクするのですが、以前、この資料について「大規模な住宅開発やマンション建築の予定はないのか？」という質問をしました。その際、市長から「計画はある」と明言がありました。この計画について次年度の総合戦略には組み込まれているのでしょうか？ もしそうならおそらく住宅開発に合わせて「空き住居」が増える可能性があるのではないかと推察します。それを保育士の移住先に使えないでしょうか？</p>	<p>大規模な住宅開発の計画については、市長が言及しましたとおり、検討段階に入っているものと認識しております。しかしながら、詳細な計画内容や、それが次年度の総合戦略に具体的に組み込まれるかどうかについては、現時点ではお答えできる段階にございません。</p> <p>住宅開発に伴う空き住居の発生や、それを保育士の移住に活用する可能性については、大変興味深いご指摘です。地域住民の生活環境の改善や、保育所の配置といった観点からも、重要な課題であると考えております。</p> <p>ただいま今後のまちづくりに関する様々な可能性を検討しており、ご提言いただいた内容も参考にさせていただきたいと考えております。</p>	経営戦略課
8 -		<p>○ジェンダー平等について</p> <p>今回の会議の席で市長は「男性職員の育児休暇取得率100%」や「ジェンダー平等について積極的」というような古賀市の特徴を挙げられました。実際に施策としてはそのような「方針」が読み取れます。しかしながら、実質はどうでしょうか？ 今回の会議に出席された市職員の方々の内、女性は1名だったように思います。もちろん管理職の方々が全員出席されているわけではないと思います。それでもこの比率はいびつだと感じられました。ひょっとしたら「隠れたジェンダーバイアス」があるのではないかと勘ぐってしまったのですが、可能であれば、一度チェックされた方がいいと思います。</p>	<p>「古賀市における女性職員の活躍の推進に向けた特定事業主行動計画」では係長以上の役職において、職員の占める女性割合について33%以上をめざす」ことを目標とし、令和5年4月1日時点で35.1%（114人中40人）となっています。</p> <p>職員の役職登用については、男女の分け隔てなく、本人の能力と意欲を重視して係長級以上の任用を決定していますが、人事配置の参考としている自己申告書等で、責任の重大性等から昇任を躊躇される女性職員も多い状況です。引き続き男女の分け隔てない役職登用に努めて参ります。</p>	人権センター
9	資料4 P3	<p>【施策1-1-2 子育ての経済的負担の軽減】</p> <p>高校生までの教育への経済的助成の充実拡大計画はあるのでしょうか</p>	<p>古賀市では経済的理由で高等学校等への就学が困難であると認められる生徒等の自立と進学を促すため、新入学に伴う費用の一部を支給する高等学校等入学支援金支給制度を設けるなどしています。現在のところ、拡大計画はありません。</p>	子ども家庭センター

令和6年度第2回古賀市総合政策検証会議アクションプラン関係事後質問

番号	資料の ページ	質問	回答	担当課
	資料4 P4	【施策1-1-3 幼児教育、保育サービスの充実】 医療的ケア児受け入れ対応拡大の具体策はあるのでしょうか	私立認定こども園が取り組む看護師配置等の医療的ケア児受け入れ体制整備に対して補助金を交付する等、医療的ケア児の受け入れを促進しています。	子ども家庭センター
	資料4 P5	【政策1-2 学校教育の充実】 学校施設の閉鎖閉校若しくは統廃合の計画はありますか	計画はありません。	教育総務課
	資料4 P9,P14, P15,P17	【政策1-3 つながりを深める学ぶ機会の充実】 郷土への愛着、シビックプライドの高揚のためには、市民みんなが我街の自慢を自覚し拡散していくことが第一と思います。歴史資料館(博物館)の充実、船原古墳のPR拡大また美術館の設立等、市外からの見学者の来訪も検討されてもよいのではないのでしょうか	郷土愛の醸成並びに、市外見学者の誘致のために、歴史資料館では、市にゆかりのある人々の作品展示や、船原古墳のYouTubeなどによる発信などPRにも努めているところです。また、船原古墳は、駐福岡大韓民国総領事館にもご協力をいただきながらその魅力発信を行っているところです。	文化課
10	資料4 P37	【政策3-1 商工業、観光の活性化】 海岸の松林の遊歩道を整備し海浜公園としての活用はどうでしょうか	<p>本市の海岸については、海岸線や夕陽の美しさから、散歩をしたり海を眺めに訪れるなど、日常生活にある風景として大切にしています。その原風景の美しさを楽しむ場所として、観光スポットとしても紹介しています。</p> <p>海辺でのレジャーや体験学習をするような海浜公園としての整備は行う予定はありませんが、原風景の美しさや、地元の皆様による夕陽風景時計の設置や清掃活動などで保たれる美しさも、魅力の一つととらえています。</p> <p>なお、新たな遊歩道の整備につきましては、現状において海岸の松林が砂や風から人々の暮らしを守る保安林としての機能を有するため、法律で伐採等について制限が設けられていることや、個人所有地でもありますことから困難な状況であります。</p>	商工政策課 農林振興課

令和6年度第2回古賀市総合政策検証会議アクションプラン関係事後質問

番号	資料の ページ	質問	回答	担当課
11	資料4 P40	<p>【施策3-1-3 魅力あふれる観光の活性化】</p> <p>ブランド産品は今や街おこしの起爆剤とも言えるようになっていきますし、早期に確立することは重要な課題と思われます。官民挙げて重点施策を急ぐべきだと思います</p>	<p>本市の観光ブランディングについては向上させる必要性があり、令和5年度から本市の観光ブランドコンセプトを「ひとてま歓幸（かんこう）」として観光振興の強化をスタートしました。コンセプトに沿って、既存の「コガボーン」での物産の販売強化や、令和6年度からはJR博多駅や県内イベントへの出店、県外のデパートなどでの物販やPR等の取組を開始しています。今後も、古賀市の誇りであるモノづくりや食品加工の技術が生み出す産品のPRはもちろん、企業が多く立地する強みを活かしたコラボ商品やオリジナル商品などの開発につながるよう、企業の皆様と連携を図っていきます。</p> <p>また、古賀市の農産物に関するブランド化の取り組みにつきましては、スイーツコーン祭や農家直売軽トラ市などにおいて、「朝どりこがスイーツコーン」を販売するとともに、各種イベントにて地域おこし協力隊が、試作した農産物加工品をPRしております。今後も引き続き、特産品の周知と関係団体と連携した新たな特産品の開拓に取り組んでまいります。</p>	<p>商工政策課 農林振興課</p>
12	資料4 P51	<p>【施策4-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの確立】</p> <p>千鳥駅、鹿部駅からのコガバスの路線を開通してほしい</p>	<p>千鳥駅とししぶ駅には、現在西鉄バスが接続しており、ししぶ駅からはAIオンデマンドバスもご利用いただけます。</p> <p>コガバスは、西鉄バスなどの利用が困難な地域と市街地を結ぶことを目的として運行しており、現状では千鳥駅とししぶ駅への路線開通の予定はありません。</p> <p>地域の移動ニーズに合わせた多様な交通サービスについて、継続して検討していきます。</p>	<p>経営戦略課</p>
13	資料4 P65	<p>【施策4-4-5 私達にできる地球温暖化の防止】</p> <p>学校等公共大型施設屋上にソーラーパネルを設置しては、どうでしょうか</p>	<p>現状と課題の文章中に「公共施設（小学校などの指定避難所等）への再生可能エネルギー設備の設置等を検討」と記載しておりますが、ソーラーパネルも再生可能エネルギー設備に含まれております。</p>	<p>環境課</p>